

【学校教育目標】
郷土に根ざした
健全な児童の育成
【めざす学校像】
みんなの笑顔があふれる
周布小学校
【めざす子ども像】
学ぶ子
育つ子 進む子



浜田市立周布小学校
浜田市周布町463-3
電話 0855-27-1006
FAX 0855-27-4724

大型連休が明けて

今年のゴールデンウィークは、三連休と四連休に分かれていました。皆さんどのようにお過ごしでしたか。連休前には、嬉しそうに予定を聞かせてくれる子どもたちの姿がありました。そして連休明けにも嬉しそうに思い出話をする姿が。

学校生活では毎日素敵な思い出となる活動ばかりではないかもしれません。それが「日常」です。日常の中に楽しみを見つけたり、発見があったりすることが充実ということなのでしょう。

「イベント」だけが思い出ではないのです。何でもない時間を共に楽しむことがこの先の子どものための人生を支えると思います。

以前の学校だよりに「思い出力」という話題を書きました。良い思い出は一生の暮らしを支えます。ささやかな思い出で構わないのです。家庭でも地域でも学校でも積み重ねていききたいと思えます。



授業公開、PTA総会 お世話になりました

四月二十日(土)にはたくさんの保護者の皆さんにご来校いただき、授業の様子を見ていただきました。ありがとうございました。また、引き続きのPTA総会にも多くの出席をいただき、スムーズに議事が進行しましたことも合わせて感謝申しあげます。素晴らしい出席率に周布小PTAのパワーを感じたところです。

PTA事業が様々な計画されました。子どもたちのため、保護者の皆さん同士のため、素敵な事業展開となりますように、お願いします。



6月の主な行事予定

- 5日(水) 交通安全教室、委員会
- 6日(木) スクールコンサート
- 11日(火) 浄水場見学(4年)
職員研修のため午後下校
- 12日(水) クラブ活動
- 13日(木) 歯科検診、内科健診
- 14日(金) 授業公開日、PTA 総務委員会
- 20日(木)～21日(金)
修学旅行(6年)
- 26日(水) ふれあい集会、クラブ活動
- 27日(木) 租税教室(6年)
保幼小連絡会
- 28日(金) 科学教室(4年)



総会の中で「すぐる」と「学校、家庭、地域の役割」についてのお話をさせていただきました。すぐるについては、先日全てのご家庭の登録が確認できました。ありがとうございます。今後は文書配付について積極的にすぐるでの配信を活用していきます。合わせて「欠席連絡」もすぐるをご活用ください。ご不明な点がありましたら、学校までお問い合わせください。



「学校、家庭、地域の役割分担」については、令和四年四月にお配りしたものをホームページに掲載してあります。左のQRコードからご覧ください。

休みの日の遊び方：特にSNS、スマホ、インターネット、ネットワークゲームに等々については、ご家庭での管理、ご指導をお願いします。



授業公開日



今年度初めての授業公開日でした。おうちの人に見守られて緊張気味なのでしょうか。

集団下校

地域の皆さんと一緒に

毎日の登下校や普段の生活で、青パト隊、見守り隊、交通安全推進委員、交通安全協会など、たくさんの方の皆さんにお世話になっています。

校外班会の日に合わせて通学路の注意箇所や登下校の歩き方などについて確認しながら一緒に下校していただきました。



米作り・野菜作り

五年生は総合的な学習の時間、二年生は生活科、特別支援学級は生活単元学習において、お借りしている田んぼや学校の畑を使って、栽培活動を行っています。



地域の皆さんにたくさんご協力いただいて、田植え、苗植えを行いました。しっかりとお世話をして、観察もしながら学習を深めていきます。

避難訓練

今年度一回目の避難訓練を行いました。初めての一年生も含めて、全校で真剣に取り組むことができました。



児童総会

より良い周布小学校にするために、委員会での取組や、一人一人ができることを考える機会になりました。一人一人が小さなことから取り組めばきつと大きな成果につながりますね。



◆物事や出来事は一つだけの見方をして見ると見誤ることが多い。「虫の目」「鳥の目」「魚の目」で見よと教わったことがある ◆虫の目：目の前の小さなところをそのまま見る。鳥の目：広い視野で俯瞰し全体を把握する。魚の目：水の流れの中で泳ぐように、世の中や時代の流れを読み解く ◆いづれも大切な視点であろう。要はバランス ◆子どもたちは日々様々なことを経験する。トラブルも起きる。いろいろな訴えを聞くときには、この三つの目をもたなければならぬ ◆子どもたちは成長途上にある。記憶があいまいだったり、説明が十分にできなかったりもする。自分の都合の悪いことは伝えなかつたり歪曲したりすることも ◆信じることに相反することではなく、成長過程であろう。信じているからこそ大人は三つの目で丁寧に見て、じっくりと聞いていく必要があるのだ ◆ネットニュースなどのコメントを読むと実に心無い内容が多い。そのようなことを発信したり、口にしたりますようにならないために、虫、鳥、魚をポイントにしたい ◆